



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育2013



★防災キャンプ2013（※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ）

①集団宿泊体験行事を通して、自然災害や災害発生時の対応について理解を深めるとともに、以下の能力を育む。

- ・郷土愛 郷土の自然の恩恵と地域の人情を感じ取ることができる。
- ・人間関係形成能力 自分にできること、できないことを判断し、相手に伝えたり一緒に行動したりすることができる。
- ・自己管理能力 集団の中でマナーを守ったり、無理をしないで健康にすごしたりすることができる。
- ・課題対応能力 これまでの経験や知識をもとに協力して問題を解決することができる。



②保護者及び地域住民と地域防災の在り方について考え、学校と家庭、地域の連携を図る。

平成25年10月3日（木） 天候：12：00 まで弱雨、その後曇り・・・

MISSION 1：地域防災訓練1

PM 1：30 防災無線を用いた地域防災訓練予告放送
コドモ防災クラブ員が、地域防災訓練についてお知らせ放送を行いました。



(チャム上り)これはお知らせ放送です。こちらは根知小学校コドモ防災クラブです。本日午後2時40分頃に地域防災訓練を行います…(中略)…訓練ですのでお間違えのないようお願いいたします。…(後略)

PM 1：55～ 2：40 授業参観（防災教育の授業公開）



各学級とも、新潟県防災教育プログラム（津波災害編）の教材資料を用いて、津波災害の授業をはじめて行いました。

PM 2：41 地域防災訓練

(前略)…(ウー-サイレン音)訓練。こちらは東中防災会です。朝からの激しい大雨により、川が決壊するおそれがあります。落ち着いて避難所へ避難してください。…(後略)

防災行政無線による避難指示放送を受け、「(前略)…大雨による避難指示が出されました。学校体育館が避難所になります。児童は荷物と防災頭巾をもって、担任の指示に従い落ち着いて体育館へ避難しましょう。」の校内放送が流れました。児童と授業参観に来られていた保護者だけでなく、防災行政無線の避難指示放送を聞いて、地域の住民（根知防災会の役員さん他）12名も体育館へ集まってきました。



★防災研修のポイント★

- ①予め地域住民として参加される根知防災会の役員さんへは、炊き出し用の食材などを持参されるよう依頼をしておきました。お米、ジャガイモ、サツマイモ、トマトの食材のほかに、ポリ袋が届けられました。初日の夜は、この食材だけを用いて炊き出しを行います！（食材が集まったことに安堵…）
- ②避難所の受付では、来られた人から「防災会役員」「利き腕骨折」「盲導犬を同伴」「犬アレルギーあり」「日本語が話せないフランス人（観光客）」など、演じてもらう避難者の条件（役割）を記したプレートを渡しました。

MISSION 2：防災研修（避難所運営図上訓練）

PM 3:00 HUG!

はじめに9月16日の台風18号の被害（妙高市の矢代川が決壊）で、**小学校が避難所となった**事例を紹介しました。そして、体育館に集まった児童と保護者、地域住民、教職員の計約60名が8つの班に分かれて避難所運営ゲーム（HUG）を行いました。

このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割を考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。（避難所運営ゲーム取扱説明書より引用）

全体での意見交換では、「猫をどうするか…」「簡易トイレの設置場所や山盛りになったトイレのう〇〇をどうするか…」「2人だけで避難して来た子どもは…」「30人分の食事が欲しいと言われたが…」「血圧の薬は…」など迷ったことを出し合いました。「自分たちのグループは…したよ」と、他のグループの対応の仕方に学びました。



矢代川の決壊の様子（避難所掲示物）



避難所となった新井北小学校の様子



MISSION 3：地域防災訓練2（避難所研修1）

PM 4:40 避難所生活の準備をせよ！

「HUGの学びを生かし、この後ここに避難している方々で避難所運営を行います。学校職員は、運営活動の支援をする立場です。電気と水道水が使用できません。使用できる場所は体育館と本校舎3階です。では、【避難所生活のヒント】を基に運営を始めてください。学校職員は、防災資源の確認と非常発電機の準備、立ち入り禁止箇所の表示など…」と、教頭から指示が出されました。

避難所運営を行う子どもたちの様子を見学しようと参加した地域の方々が、ここで一転！避難所運営の主人公となりました。

受付で「防災会役員」を引き当てた、区長さんへ避難所運営リーダーをお願いしました。

※「**やってみないと知らない！**」が防災キャンプのキーワードです。

「やったことがないからできません！」は、有事の際には通用しません。やったことがないからやる意味があるのです。

避難所生活のヒント

避難者（児童・保護者含む）

0. 避難者の確認

1. 避難所運営リーダーの選出
2. 町内（1～4丁目他）リーダーの選出
3. 避難所生活の準備事項確認

例 ・避難者名簿の作成（町内ごと）

- ・生活のルールづくり
- ・居住スペースの割り当て
- ・居住スペースの設営
- ・毛布の確保
- ・炊き出し
- ・トイレ水の確保
- ・その他

4. 役割分担



★防災研修のポイント★

ガスはプロパンガスであるため使用可、電気と水道水は使用不可という想定です。

③水は消費期限切れのペットボトル水2ℓ×8本、新たに市からいただいた1.5ℓ×6本×5ケースを用意。炊き出しや飲料水、そして食材や食器を洗う水などにどう活用するか？・・・トイレの水は？

④食料は、缶詰（さば・さんま・ウインナー）各24個！（アルファ米は2日目の朝食用！当然水が必要）

⑤学校が用意した懐中電灯12個（各町内で3つずつ）をどう活用するか。

⑥昨年度市から借りたパーティションは今年度借用せず。有るのは、プラスチック段ボール120枚！

避難所運営リーダーの指示で、まず避難者名簿を作成しました。町内単位で割り当てられる居住スペースについては、「体育館が広いので、**適当に・・・**」ということで、早速プラスチック段ボールを敷きつめ、**居住スペースを確保**始めました。さらに、**プライバシーの確保**と冷気の遮断を目的に、壁を工夫してつくりました。ある町内は、段ボールの下に新聞紙を敷いたり、段ボールを2枚重ねたりと・・・

日が暮れてから、**トイレの水を確保**していないことに気づき、プールからバケツで水をくみ出しました。



避難者の確認

居住スペースとプライバシーの確保

プールからバケツで水をくみ出し、大きな容器に溜める

一方、早くから取り組んでいた炊き出し班とキャンドル作り班は、**ハプニングが続出！・・・**

お米をポリ袋に入れて一食炊きしていたら、袋が溶けてお米が飛び出す！水が足りない！日が暮れて暗くなり、懐中電灯の灯りで！予定の時間にご飯が炊けない！・・・それでも、いただいたトマトとジャガイモ、ウインナーの缶詰を使ってスープを、サツマイモはとりあえず茹でて・・・思案して作ったこの**温かい飲み物**と**甘いデザート**は、非常時の疲れた心身には大助かりでした！

キャンドル作りでは、温めて溶かしたろうがこぼれ・・・溶かしたろうはなかなか固まらない！

PM 7:07 いただきます！（予定を1時間超過しました・・・）

節水のため、食器の上にはラップ敷いて、ご飯を盛りました。やっと口にできた食事の味は・・・**ホッ！**



ろうそくを溶かして・・・

お米をポリ袋につめて・・・

真っ暗！懐中電灯の灯りをたよりにご飯を分け合って・・・

MISSION 4：サプライズ避難訓練

PM 7:40 緊急地震速報～地震発生
食事を終えて、全員が体育館へもどった頃、

「(チャイム音) 気象庁より、**緊急地震速報が発令**されました。震源地は、新潟県糸魚川姫川港沖5km付近と予測されています。強い揺れに備えて下さい。(地震音響:ガタッガタ)」

避難所に持参した**防災頭巾をかぶったり**、手で頭部を保護したりして、壁から離れて小さくうすくまりました(**ダンゴ虫のポーズ**)。この一連の動きは素早く、子どもたちには手慣れたもの！（日頃の賜物です）

MISSION 5：キャンプファイヤー

PM 7:45 燃えろよ！燃えろ！



避難してグラウンドに出たら、雲が晴れ、満天の星！

火の神（校長先生）が、「…私は人間の心に火を与えよう！…知恵の子よ前へ…」と正義の子、情熱の子、希望の子へと分火し、中央の薪に点火しました。そして、学級ごとにクイズや手品などでキャンプファイヤーを盛り上げました。最後に、熊本市から視察に来られていた杉本先生が**くまもん**音頭を披露し、みんなで**くまもん**になりきって踊りました。

MISSION 6：消火訓練

PM 8:35

「…キャンプファイヤーをここで中止し、消火活動に入ります。水は防火用水としての**プールの水**しかありません。**全員バケツリレー**で消火活動を開始します！」プールサイドは大人が担当し、バケツをリレーして消火しました・・・バケツ6杯でほぼ鎮火しました。



暗闇の中での本気の消火活動

※**防災キャンプのキーワード2:児童・職員のやってみたいことを実現する！**

MISSION7：キャンドルサービス

PM 8：45 キャンドルを並べて知らせよう！

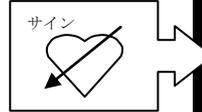
「強風にあおられ、けが人が出ました。川の決壊により車が通れず、電話もつかえません。風が少しおさまりましたので、空から気付いてもらえるようキャンドルを並べます。」つくったキャンドルに火を付けて、グラウンドに並べました。真っ暗な校舎の中を歩き、屋上から描いたサインを眺めました。屋上へ出るのは、はじめてです。高学年が低学年の手をしっかりと握って守りました。



MISSION8：電気のない(寒い)夜

PM 9：40 電気のない夜をすごせ！

代表者会議で消灯時間を9：40に変更しました。約束の9：40に非常発電機は停止！10：40頃ようやく全員の声が聞こえなくなりました。



平成25年10月4日(金) 天候：晴れ！

AM 6：00 起床・朝食準備・後片付け開始

MISSION9：ウォークラリー JRCの精神(あいさつ・5分前行動・先を見る)を確認

AM 8：15 地域探検&防災啓発活動をせよ！

縦割り班で歩いて回るコースを決定しました。ウォークラリーでは、地域の防災資源(消火栓・消防小屋・防火水槽・用水・火の見櫓・危険個所など)を確認しながら、コース内の全戸に防災啓発パンフレット(家具転倒防止・非常持ち出し袋)を配布しました。



MISSION10：地震体験

AM10：45～ ナマズ号で過去の地震を体験せよ！

公民館前で、最新のナマズ号に乗り、関東大震災や東日本大震災などの地震の揺れを体験しました。

特別MISSION：笹寿司体験

AM11：00～ 根知の「お・も・て・な・し(人情)」を学べ！

公民館で、地域のおもてなし料理である「笹寿司」作りに挑戦しました。できた笹寿司の他に「こくしょ」(お汁)と「お漬物」をいただきました。



用水のようすは？



家具の転倒防止の対策は？



こんなに揺れたら家が・・・



笹寿司はこうやって・・・

児童・保護者引き渡し訓練 AM11：30 一斉メール配信システムを利用して引き渡し時間を通知！

PM 2：00～ 避難解除！

遅れているグループを待っている間、火おこし(コドモ防災クラブが師範)や水消火器の体験をしたり、防災カードゲーム(なまずの学校)で防災学習をしたりしました。予定よりも30分遅れましたが、引き渡しカードの登録者かどうか確認し、迎えに来られた方へ児童全員を引き渡しました。これで全MISSIONをクリア！



火おこし体験に挑戦



水消火器に挑戦



なまずの学校で防災学習



全員保護者のもとへ帰りました！